

令和7年度 高志高等学校 入学式 式辞

満開の桜とともに、春うららかな季節を迎えたこの良き日、令和7年度 福井県立高志高等学校入学式を挙行するにあたり、PTA会長 山腰文仁（やまごし ふみひと）様をはじめ、多くの来賓、保護者の皆様の御臨席を賜り、新入生の皆様のご入学を祝福できますことは、この上ない喜びであります。高志高等学校・高志中学校の教職員を代表しまして、高い所からではございますが、御臨席の皆様にご心より御礼申し上げます。

ただいま、入学を許可しました238名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

私たち教職員は、皆さんが入学するのを心待ちにしていました。皆さんは、自らの意志でこの高志高校を選びました。入学式にあたり、そのことを今一度思い起こし、そして、保護者やご家族、お世話になった先生方への感謝の気持ちを胸に、本校での生活の第一歩を踏み出してほしいと思います。

本校は、この春に第76回の卒業生を出した伝統ある学校でありながら、常に時代の先を見つめ、新しいことにチャレンジしてきた学校です。

10年前の平成27年には高志中学校が設置され、公立で県内唯一の併設型中高一貫教育校になり、高志中学校から進学した生徒と他の中学校から入学した生徒が切磋琢磨しながら高校生活を過ごすことで、お互いに高め合う協働・共創（共に認めあい、力を合わせて課題に向かって、ものごとを成し遂げていく活動）の雰囲気が高まりました。

また、令和4年度からは従来の普通科から1年次の「探究創造科」、2年・3年次の「理数創造科」「人文創造科」と教育活動に見合う名称に発展的にあらため、創造的な（クリエイティブな）思考、知的好奇心や主体性を伸ばし、将来の夢に向けて挑戦する生徒の育成を目指す取り組みを充実させてきました。

是非、皆さんもこの高志高校でどんどんチャレンジして、皆さん自身の新しい道を切り拓いて欲しいと思います。そのことが、高校3年間での飛躍的な大きな成長につながっていきます。

さて、高志高校の校訓は、「克己・創造・敬愛」です。

「克己」とは、中国の思想家である孔子の教えを記した「論語」が由来と言われ、「己の欲望に打ち勝って、礼儀を守ること」を意味します。強い気持ちを持って困難に向き合うという意味にも通じます。皆さんが心の中に持つ「成し遂げたいこと」や「なりたい自分」を実現・達成するために、必要な心構えになるでしょう。

「創造」は、「新しいものをつくりだす」という意味です。皆さんがこれから出会っていく疑問や課題は、すぐには答えが出ないものや、正解が一つに定まらないものがたくさんあります。そのような課題に対して、自分なりの考えを見つけ出すために必要な力です。

「敬愛」は、「人を敬い、相手に対して尊敬と親しみの心を持つ」という意味です。お互いの個性を認め合い、協力できることは、これからの社会変化に対応するために、多くの人々の「知恵を結集する」場面などで必要とされる姿勢だと思います。

そこで、皆さんに次の言葉を贈ります。

「人生に限界はない。行きたいところに行きなさい。望むところまで高い峰に登りなさい。全てはあなたの心の中にある。全てはあなたの手の中にあるのだから。」

これは、数々の名言を残したスティーブ・ジョブズの言葉の1つです。

この内容は「すべての人に大きな可能性がある」。そして「自分の夢を実現させていくのは他の誰でもない自分自身だ」ということが核になっていると言えます。

これからの3年間、本校で皆さんが取り組んでいく「答えのない問いに対して、考え、調査し、さらに問いかけ、じっくり考える」教育活動を通して、皆さんは夢を叶えるための様々な力が付くと思います。

そして、学校や先生からの指示をただ待っているだけでは大きい成長はありません。皆さんがそれぞれ持っている興味関心を広げ、学校での教育活動すべてに、「自分で考えて取り組むこと」が、皆さん一人ひとりの大きな成長をもたらします。さらに「自分自身のこと」の意識を高め、周りの人々を幸せに導き、将来を切り拓いていく力になることでしょう。

保護者の皆様、本日はお子様の御入学、誠におめでとうございます。本校の教育目標である「地域社会、国際社会のリーダーの育成」に向けて、教職員一丸となり、精一杯の支援をさせていただきますので、本校の教育に御理解と御協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

新入生の皆さん、これから始まる高志高校の生活3年間で、皆さんがどのような成長を遂げてくれるのか、心から期待して、式辞とします。

令和7年4月7日

福井県立高志高等学校長 濱田 敏功